

凡例

1 本書は2003年度に採択され、2007年度に終了する神奈川大学21世紀COEプログラム「人類文化研究のための非文字資料の体系化」の研究成果報告書の最終巻にあたる。

2 本書は、本プログラムの5年間の展開を跡づけ、成果を整理要約して、プログラムの5年間にわたる研究事業を総括したものである。

3 本書は、第1部研究総括、第2部事業総括、第3部資料の3編で構成した。

4 第1部研究総括は、本プログラムの中核部分である5年間の研究活動を、全体総括と各班・課題に分けて、その展開過程と研究成果を要約した。

5 第2部事業総括では本プログラムの研究事業の主要な柱である若手研究者育成、国際交流、情報発信について、それぞれの成果を要約して示した。

6 第3部資料は、この5年間の本プログラムの事業展開に関わるデータ、各種資料を収録した。第1部・第2部の記述の裏付けとなる各種資料がここに記載収録されている。

7 本書は、神奈川大学21世紀COEプログラム研究推進会議の責任で編集したものである。第1部、第2部の内容については各担当者、各班・各課題代表者等から提出された報告原稿をもとに、推進会議で調整し、加筆補訂を大幅に行った。そのため、第1次原稿の執筆者名を記載しなかった。

8 第1部、第2部の記載内容についてはできるだけ客観的に記載し、その記録性を高めるように努力した。

9 第3部のうち、5年間の間に作成された各種文書は、作成当時のまま収録した。また文部科学省、日本学術振興会からの各種通知書も、記録としての

性格上、できるだけそのまま収録することにした。

10 第3部に収録した年表、その他一覧表はCOE支援事務室で作成し、研究推進会議が編集した。

11 本文中の地名表記は、第3部は原則として資料作成時のままとしたが、第1部・第2部は現行の市町村名に統一する努力をした。

12 本文中に登場する、本プログラム関係者以外の個人については、個人情報保護の観点から、所属、住所、電話番号などの記載を、資料中においても網掛けその他の方法で抹消したことがある。また氏名についても記載を省略したことがある。

13 本文中の年次の記載は西暦を基本とした。

14 本書の編集時には、本プログラムの各事業は未だ完全には終了しておらず、記載内容と若干の違いが生じる可能性がある。

15 巻末に索引を付した。索引は事項索引と人名索引とし、それぞれ50音順に配列した。いずれも第1部、第2部、第3部に記載された事項と人名を対象に作成した。但し、写真、図などの図版のなかに記載されたもの、および図版キャプションに記載されたものは除外した。